

今年度第1号のメールマガジンをお届けします。受験を控えた中学生へ県立高等学校の魅力ある取組など有意義な情報をお伝えしますので、ご活用ください。

- 高校の特色ある取組
- 学校紹介スペシャル
- コラム

については各高等学校からの原稿を掲載しています。

なお、県立高等学校についての情報は、以下のホームページを御覧ください。

県立学校「公立高校ホームページ」

⇒ <http://www.pref.miyagi.jp/kyouiku/school/koukou.htm>

■ もくじ ■

- 1 平成25年度入試に向けた公立高校情報の提供について
 - (1) 地区別公立高校合同説明会の開催
 - (2) 公立高校オープンキャンパス（学校説明会）の開催
 - (3) 公立高校ガイドブックの掲載予定
 - (4) 公立高校文化祭日程一覧掲載予定
- 2 高校の特色ある取組
 - (1) 泉高等学校
＜「学園らしい進学校」の創出＞
 - (2) 泉館山高等学校
＜～生徒一人ひとりの夢の実現を目指して～ サポートプラン大志21＞
 - (3) 登米高等学校
＜登米高校ドリームチャレンジプラン＞
- 3 学校紹介スペシャル
 - (1) 宮城第一高等学校
＜自主・自律＞
- 4 コラム
 - (1) 宮城広瀬高等学校 総務部長 奈須野 文人
＜三十回目の入学式を終えて＞
 - (2) 岩出山高等学校
＜岩高短歌 ～ワタシタチノウタ～＞
 - (3) 中新田高等学校
＜勉学と行事・部活動で高校生活を思いっきり充実させよう！！＞

(4) 水産高等学校 教諭 若松英治
＜アイデアを形に＞

5 編集後記

■ 1 平成25年度入試に向けた公立高校情報の提供について ■

メールマガジン以外にも、公立高校のさまざまな情報を提供していきます。

□ (1) 地区別合同説明会の開催

各地区内のすべての公立高校が参加して、地区別合同説明会が開催されます。説明会では、参加校が学校の教育内容や特色ある取組について15分程度説明し、その後5分程度の質疑の時間が設けられます。また、ほとんどの会場で、学校ごとの個別質問コーナーも設置されます。

来春の公立高校入試から始まる新しい入試制度についての説明や質問コーナーもあります。

各会場の開催日時と開催会場は次のように予定されております。

◇仙南会場	6月30日(土)	10:00~15:40	白石高等学校
◇仙台会場	7月14日(土)	10:00~15:30	仙台二華高等学校
◇大崎会場	7月7日(土)	10:00~15:25	大崎合同庁舎
◇登米会場	7月7日(土)	10:00~13:00	佐沼高等学校
◇栗原会場	7月8日(日)	10:00~13:30	築館高等学校
◇石巻会場	7月8日(日)	9:40~14:20	石巻専修大学
◇本吉会場	7月21日(土)	10:00~15:00	気仙沼高等学校

地区ごとの開催時間や学校の説明時間などの詳細は、5月中旬に各中学校へお知らせしました。また、高校教育課のホームページにも掲載しておりますので、アクセスしてみてください。

事前の申込は必要ありませんので、中学生の皆さん、保護者の皆様の多くのご来場をお待ちしております！

→＜ホームページはこちら＞

http://www.pref.miyagi.jp/koukyou/10_教育指導班/2012_goudouseitumei/soudan001.html

□ (2) 公立高校オープンキャンパス（学校説明会）の開催

今年度も夏休みを中心に、各高校においてオープンキャンパス（学校説明会・一日体験入学）が開催されます。教育内容の詳しい説明や施設見学、さらには模擬授業や部活動体験など、各学校が工夫を凝らしたプログラムを準備しています。

一つの学校に限らず、多くの学校のオープンキャンパスに、ぜひご参加ください。

高校ごとの開催日時や実施内容、申込方法などは、6月初旬に各学校へお知らせする予定です。高校によっては、パソコンや携帯電話からも申込が可能です。

くわしくは高校教育課のホームページに掲載しますので、しばらくお待ちください。

□（３）公立高校ガイドブックの掲載

これまで作られてきたガイドブックの内容をリニューアルして、新しいガイドブックを作成します。

学校の特色や進路情報だけでなく、入試情報や行事などへの取組み風景を写した写真も多く掲載し、受験生にとって有益な情報が満載です。7月上旬までには高校教育課のホームページに掲載する予定ですので、ぜひ楽しみにお待ちください。

□（４）公立高校文化祭日程一覧

夏から秋にかけて、今年も高校の文化祭が開催されます。生徒が中心となって、文化部のステージ発表や展示発表、模擬店の開催など、各学校とも趣向を凝らしたイベントが行われます。高校生の校内での活動を知る絶好の機会です。

6月初旬には、高校教育課のホームページ上に、今年度の各高校の文化祭の開催日時を掲載しますので、ぜひ訪れてみてください。

■ 2 高校の特色ある取組 ■

宮城県の高등학교の特色ある取組についての情報を紹介するコーナーです。

□（１）泉高等学校

＜「学園らしい進学校」の創出＞

今年度で創立40周年を迎える泉高校は、泉中央駅から徒歩で通学できる緑豊かな住宅街の中に位置し、アクセスがよく、恵まれた学習環境を備える学校です。

本校は、進学成果を上げるために様々な取組を行っています。中でも、朝のSHR前に行く朝学習、毎週各教科が設定する週間課題等を徹底して実践することによって、着実に学力を向上させてきました。その結果、過去数年間の進学実績は上昇し、平成24年3月の卒業生については、国公立大学の合格数が91となり、開校以来最高の記録となりました。

この進学実績躍進の背景には、生徒の生活習慣を確立させるための地道な生徒指導があります。毎朝の昇降口での遅刻指導、毎月の朝の服装頭髪指導等が効果を上げています。

生徒会行事や部活動も活発に行われており、生徒たちは学校生活を謳歌しています。5月に行われた、泉高校・泉松陵高校・泉館山高校による「泉三校定期戦」では、運動部が頑張っただけでなく、応援団とチアリーディングによる見事な応援・演舞が行われ、その結果総合優勝することができ、大いに盛り上がりました。

泉高校は、生徒の爽やかな笑顔が満ち溢れる＜学園らしい進学校＞です。これからも、よりよい学校を創り出すために、生徒・教職員全員で頑張っていきます。

→＜ホームページはこちら＞ <http://www.izumihigh.myswan.ne.jp/>

※ 毎日更新されるブログもありますので、ご覧いただければ幸いです。

□（２）泉館山高等学校

＜～生徒一人ひとりの夢の実現を目指して～ サポートプラン大志21＞

本校では、高校3年間で、夢を抱き、自分を磨き、確かな学力を身につける時期

と位置づけています。「大志21」はその夢の実現をサポートするプログラムです。

①「進路選択力」②「学習力」③「人間力」の養成が三本柱です。

①の主な内容ですが、職場訪問（1年）、大学訪問（2年）、卒業論文制作（3年）を通して調査、探究、表現（プレゼンテーション）能力を高めめます。②の「土曜学習室」や館高セミナーでは、自学自習力を養います。館高セミナーは1月4日から数日間、特別会場で朝から夕方まで、自分でたてた計画をもとにひたすら学習をします。質問部屋には常時教員が待機し対応します。多くの館高生が、ここで、充実感と自信を得て、学習習慣を確立しています。③の中心は何と言っても朝の「館山タイム」です。SHR前の10分間を活用し、本校教員の興味関心事や時事話題をプリントにして配布。読み込み考えることを継続し、課題解決能力、論文構成能力の土台を作り上げます。

「大志21」のグランドデザイン、「志教育全体計画・年間計画」についても、本校ホームページに掲載しています。ぜひご覧ください。

→<ホームページはこちら> <http://www.izumit-h.myswan.ne.jp/>

□（3）登米高等学校

| <登米高校ドリームチャレンジプラン>

本校では、「登米高校ドリームチャレンジプラン」と称して、「高い志」と「意志決定力」を備え、地域を支える人材を育てようと取り組んでいます。具体的には、以下のA・B・Cの3つのストーリーがあります。

A 「学習指導ストーリー」 生徒がよりよい生き方をもとめるために必要な基礎学力を養います・・・授業を大事にし、課題をフィードバックしながら学習意欲を高め、自主学習力を高めめます。また、多くの資格試験の取得によって自己を高めています。

B 「進路指導ストーリー」 人とかかわるコミュニケーション力を高め、進路設計能力を育てます・・・進路は自分の生き方を考えることから始まります。

まず、コミュニケーション力を育てるため、小論文指導や面接指導を行います。そして、体系的なキャリア教育として年3回、「進路を考える日」を設定し、親も参加して希望進路の実現を目指します。その他、総合的な学習の時間で「登米(とよま)講座」と称して、地域を知るさまざまな取り組みを行っています。

C 「生徒指導ストーリー」 社会での役割をはたす帰属意識を育てます・・・社会の中の一員であることを意識し、あいさつの励行や自他を尊重する態度を養います。部活動や生徒会活動などを通して心技体のバランスの取れた人間を育成します。

<平成25年度からのカリキュラム>

平成25年度入学生から従来の2類型3クラス編成（普通科）を見直した新しい類型をスタートします。幅広い希望進路の実現を目指し、3年生で4類型4クラス編成として、より希望進路に応じた学習ができるようになります。

→<ホームページはこちら> <http://www.tome-h.myswan.ne.jp/>

■ 3 学校紹介スペシャル ■

高等学校の特色ある取組を含めて学校の取組全体をくわしく紹介するスペシャルコーナーです。

□ (1) 宮城第一高等学校

| <自主・自律>

◇在校生が語る「宮城一高」の魅力は？・・・(H23生徒意識調査より)

- ① 自主自律の精神のもと、自由でありながら責任のある行動をとる。
- ② 志が高く、勉強・部活・行事に全力で取り組む。
- ③ 個性豊かで積極的な生徒が多く、お互いを認め合う。

◇学校説明会に参加した中学生の印象は？・・・(H23参加者より)

- ① 勉強ばかりでなく、部活や行事が活発そうだ。
- ② まじめだけでなく、明るく楽しそうだ。
- ③ 予想より自由で、のびのびしていた。

◇「宮城一高」の特色は？・・・(H23学校案内より)

- ① 進学重視型の単位制高校であること
地元の国公立大学や全国の難関大学に、多くの生徒が進学しています。
進路志望に応じたきめ細かなカリキュラムが準備されています。
- ② 普通科と理数科があること
普通科では2年、3年と選択科目が増え、個に応じた学習に対応しています。
理数科では理数系科目をより深く学習し、大学での専門教育につなげます。
- ③ 誇るべき伝統と校風をもっていること
115年の歴史をもつ屈指の伝統校で、各界で卒業生が活躍しています。
責任感に裏打ちされた自由な校風のもと、行事や部活動に打ち込んでいます。

◇自分で確かめたいときは？

【平成24年度第1回学校説明会】

日時：平成24年6月30日(土) 会場：宮城第一高校

※詳細は後日、ホームページに掲載します。

→<ホームページはこちら> <http://www.miyaichi.myswan.ne.jp/>

■ 4 コラム ■

高等学校の校長先生、一般の先生、生徒代表などが、「我が校」に対する想い、最近の話題などについて語ります。その高校の新しい魅力が発見できるコーナーです。

□ (1) 宮城広瀬高等学校 総務部長 奈須野 文人

| <三十回目の入学式を終えて>

今、世界から注目を浴びている「白A」というパフォーマンスグループ。マスメディアに登場する機会も増え、ドイツなどヨーロッパでの活動が今後も予定されています。実はこのグループ、本校のOBで構成されています。

本校は今年度、三十周年を迎えます。ここ数年でインターハイに出場した男子バスケット部、女子ソフトテニス部、インターハイ・国体に選手を送り込んでいた弓道部など運動部の活躍が目立ちますが、実は本校には文化的なものを育てる土壌があるのではないかと考えています。全国大会の常連となった吹奏楽部による「マーチング」においては県内では他の追随を許さない不動の座を維持しています。もちろん、早朝から夜遅くまでの血の滲むような練習があつてのことです。この吹奏楽部、5月の東京銀座で行われた「銀座柳まつり」には、震災の被災地から唯一招待

され、代表として活動の成果を披露して参りました。又、伝統のある演劇部も、昨年度は春季全国大会へ出場、その他の文化部も地道な活動を積み上げています。

三十回目の入学式を終え、毎日顔を合わせている生徒の中にも将来のスターの原石が埋もれているのではないかと期待しているところです。

→<ホームページはこちら> <http://www.hirose-h.myswan.ne.jp/>

□ (2) 岩出山高等学校

| <岩高短歌 ~ワタシタチノウタ~>

町歩き咲いて散ってく桜見てふと考えた命の時間

2年 千葉 岬

通学路つくしだらけの道を見て虫からの視点を想像してみた

3年 佐々木悠祐

本校は全校で、短歌作りに取り組んでいます。その取組は、今年で6年目となります。生徒だけでなく、先生、事務室の方々、果ては、購買のおばちゃんまで歌を詠みます。そして、年度末に歌集を発刊しています。

この歌集が本当に大人気で、仙台、東京などの各地にまでたくさんのファンがいて、できるのを心待ちにしてくださっています。

短歌なんて難しいなあと思うかもしれませんが、五七五七七のこの伝統的な詩型には不思議な力があって、このリズムに入れてしまえば、どんなものでも「うた」になってしまうのです。

部活中網戸に留まったミンミンゼミ夏限定の新入部員

3年 相澤 衿菜

新雪に足を踏み入れぐちゃぐちゃに真白な世界に「私」をのこす

3年 和田 彩花

韓流に興味なかった母親がテレビの前でグンちゃんコール♡

3年 武藤 伶奈

部活、自分、そして韓流までも。ちなみに、和田彩花さんは、県の文芸コンクールで最優秀賞を受賞しています。

日が暮れてくらやみの中ゆるる光家族五人を照らすろうそく

2年大衡 友香

これは、「東洋大学 現代学生百人一首」の入選歌です。全国6万を超える歌の中から100首選ばれた中の一首です。昨年震災を詠んだ歌ですが、こうしてみると、あの夜のくらやみと、抱えていた気持ちが思い出されます。

短歌は本当にささやかな器ですが、だからこそ、その一瞬を鮮やかに切り取れます。過ぎてゆく高校時代の場面場面を、過ぎてゆく高校生としての「私」を、これからも、岩高生はかけがえのない「ワタシタチノウタ」として詠んでいきます。

→<ホームページはこちら> <http://www.iwadeyama-h.myswan.ne.jp/>

□（３）中新田高等学校

＜ 勉学と行事・部活動で高校生活を思いっきり充実させよう！！＞

中新田高校は、周囲を豊かな自然環境に恵まれ、かつ国内有数の音楽ホールであるバッハホールを持った加美町に位置し、そうした環境・風土のもと、学習に、行事に、部活動にとバランスのとれた教育活動を展開しています。これまでに6,000名以上の卒業生を送り出し、地元のみならず県内外の幅広い分野で活躍し、厚い信頼と高い評価を得ています。平成21年度より普通科3学級（2コース制）に改編し、これまで以上に進学や就職指導を充実させ、地域に根ざした教育を実践しています。

本校は平成19・20年度に「個性かがやく高校づくり」、21年度に「大学の教育力を活用した教員研修の実践的調査研究」という県の事業の指定を受け、宮城教育大学と連携しながら、教員の授業力向上を目指した研究実践や、生徒の進路意識の高揚を図る取り組みを行ってきました。こうした校内研究の蓄積を基盤として、22年度からは以下のような新たな研究実践に取り組んでいます。

- ① 校内研究テーマ「進路実現をめざして努力する生徒の育成 ～『自己表現する力』（書く力・話す力）の養成を中心に～」(継続研究で今年度は3年目)
上記テーマを掲げ、全教員が一致して、授業の様々な場面において、また総合的な学習の時間等において、生徒の自己表現力の養成に努め、一人ひとりの進路実現へと繋げていきます。
- ② 高校の学習へのスムーズな移行を図るための様々な取組
本校では、ここ数年、近隣中学校への授業見学を実施し、中学校の学習（指導）の実態把握に努め、新入生が高校の授業にスムーズに入っていけるように授業の内容や進度に改善を加えています。また英語における少人数授業を実施し、さらにはHR合宿学習オリエンテーション等を通してきめ細やかな学習指導を行っています。

詳しくは本校ホームページをご覧ください。

→＜ホームページはこちら＞ <http://www.nakani-h.myswan.ne.jp/>

□（４）水産高等学校

＜水産高校の春＞ 教諭 平居 高志

水産高校は、石巻北高校内仮設校舎で2年目を迎えました。今年度中に元の場所で復旧することが決まっていますが、それに先立ち、学習環境の整備が着々と進んでいます。

3月には、新しい教習用モーターボートと和船が相次いで進水しました。これで、小型の船については、震災前を上回るラインナップとなりました。一方、屋内では、パソコン室のパソコンが全て新しくなりました。昨年までは、被災した上、旧校舎から運んできた古いガタガタのパソコンで不自由な実習を強いられていましたが、これで解決です。陸でも海でも、今年は昨年を上回る充実した学習ができることでしょう。

大型実習船「宮城丸」は、もちろん元気です。今日、航海類型3年生・専攻科生を乗せ、ハワイに向けて、今年度最初の遠洋航海実習に出港して行きました。2ヶ月後には、たくさんのマグロと成長をお土産に、元気に帰ってくることでしょう。

(4月25日記)

＜アイデアを形に＞ 教諭 若松 英治

皆さんは突然ひらめいたとても良いアイデアを実際に試してみたことはありませんか？実を言うと宮水はアイデアの宝庫です。捨てる物、誰も食べようとしない物、無駄だと思われる何かを使って新しいものを開発する、魚介類や海藻などの新しい増やし方など、様々なアイデアは、なんと実習や部活動で実際のものとなっています。

宮水ブランドであるサンマの缶詰では、頭や尾などは切り捨てて生ゴミとして扱われていました。そのうち、缶詰に使われない頭や尾などゴミの部分を利用して何かできないかと考える生徒が出てきました。その結果、「魚醤油」をつくることに成功し、『宇田川乃露』と命名されました。その製法はこれまでにない発見で特許も狙える新しい製品として注目を浴びました。ナマコが激減したときも、何とかナマコを増やせないか考えた結果、ナマコを増やす技術を開発し、地元に貢献したこともあります。また、渡波校舎の近くの海は津波により海藻が流され、魚が寄りつかない海になっていました。そこで、何を繁殖させたら早く海の生態系を復元できるかを考えた結果、成長の早いコンブを植えるアイデアがでました。どんな結果を生むか、これから潜って調査するところです。見たところ少しずつ元の豊かな海に戻りつつあるようです。

その他にも、ブラックバスをおいしく食べる方法や、機械やコンピュータを使ったものづくりまで、まだまだ宮水にはアイデアがたくさんあります。その一つひとつを実現させようと生徒たちは日夜頑張っています。みなさんも宮水で食品や魚貝、海に関すること、ものづくり、でアイデアを形にしませんか？

→＜アイデアを形にできる宮水のホームページはコチラ！＞

<http://www.miyagisuisan.myswan.ne.jp/>

■ 5 編集後記 ■

今年度初めての「高校教育課 情報メール」第30号をお届けします。

震災から1年が経過しましたが、まだまだ落ち着かない生活が続いている皆さんも大勢いることと思います。そんな中、来春の高校入試は新しい制度での実施となりますし、これからの準備等で不安な気持ちになる日があると思います。

しかし、いろいろなことに負けずに、自分の目指す夢に向かって努力して欲しいと思います。

高校教育課では、県立高校のホットな情報を提供し、中学生の皆さんの不安を少しでも解消できるようにと考えていますので、「高校教育課 情報メール」をよろしくお願ひします！

高校教育課 情報メール（メールマガジン）

○発行：宮城県教育庁高校教育課 〒980-8423 宮城県仙台市青葉区本町三丁目 8-1

TEL：022-211-3626 / FAX：022-211-3696
